

## (5) 試験実施要項

### 1) 会場の設営

- ・試験会場は、養成校にて準備のうえ、使用料等をご負担ください。
- ・試験会場は、以下のようにセッティングしてください。
  - i 試験会場は、試験時間に加えて前後45分は使用できるようにしてください。
  - ii 筆記試験会場は、着席にて
    - 1～2人掛け机には1名
    - 3～4人掛け机には2名(受験者同士の間を空ける)
  - iii 試験実施にふさわしい環境を整えてください。(室温・湿度・騒音・照度等)
  - iv 試験会場内は、試験官及び受験生のみとし見学はできません。  
待機受験生が覗けないように工夫してください。

### 2) 試験関係備品

- ・試験に関する備品及び試験問題・解答用紙・評価用紙等は、試験3日前まで到着するようにJAF A事務局から養成校へ送付します。3日前までに届いていない場合はご連絡ください。  
荷物は未開封の状態で保管し、開封は試験官が行います。

### 3) 筆記試験上の注意

試験官より以下伝達しますので、事前に受験者へ必要事項を伝達してください。

- ・机上には、筆記用具、電卓(携帯電話不可)、身分証明書(学生証)を置き、その他の物はしまってください。
- ・携帯電話及びスマートフォンは、必ず電源を切りかばん等にしまってください。
- ・試験開始時間10分を経過した場合、遅刻者の入場はできません。
- ・やむをえない事情を除き、いったん退室したら再入場は認めません。

### 4) 実技試験上の注意

- ・グループごとに実施し、他の受験生は見学できません。
- ・指導者としてふさわしく、身体のラインが見えるウェアを着用してください。

★受験生の不正は一切認めません。不正が発覚した場合はその時点で試験を中止し、退室させその旨をJAF A事務局へ報告してください。

★試験関係書類は一切のコピー及び無断転載を禁止いたします。万一、不正(試験問題の流失等)が判明した場合、その養成校は試験の実施ができなくなる場合があります。

#### 5) 試験終了後

- ・試験官が筆記試験問題用紙、解答用紙の全てを回収します。採点はJAF A事務局にて行います。
- ・実技試験結果は、評価用紙を元に成績一覧表を試験官が作成します。
- ・筆記試験問題用紙、解答用紙、実技試験評価表、成績一覧表及び未使用分の書類一式をJAF A事務局へ返送してください。
- ・試験終了後の荷物は、試験官が封を閉じ協会へ返送または養成校担当者に送付を依頼します。  
※荷物の返送においてJAF A事務局は佐川急便の伝票を用意しています。別業者をご利用の場合は、着払いの伝票で対応してください。

#### 6) 結果

- ・試験結果は、2～3週間以内に各個人宛に郵送、または当該校担当者へメール添付にて結果を一覧表、個人配布用として通知します。

#### 7) 試験官謝金及び交通費

- ・試験官謝金及び交通費は、JAF A事務局よりお支払します。  
試験官 交通費(旅費)上限について…当該年度 1校につき20,000円まで  
上限を超える場合は差額分を養成校・養成機関様にご負担いただくことになります。  
できるだけ最寄の試験官(GFIエグザミネーター)へご依頼ください。  
なお、試験官依頼は従来どおり、養成校・養成機関よりGFIエグザミネーターへ直接依頼していただいて構いません。  
ご手配できない場合はJAF A事務局へご相談ください。  
受験人数が少数(2名～4名)×3 種目の場合、所要時間上、複数種目の筆記・実技試験の同日実施をお勧めいたします。  
また、1種目あたりの受験者数が30名以上を超える場合は、試験官2名体制による同時進行も可能ですので、事務局までご相談ください。  
例:SEI 36名受験…18名×2班に分かれ、同時進行で受験  
⇒受験者36名に対し試験官1名体制の場合は試験時間が約160分、2名体制の同時進行の場合は約80分です。

#### 8) その他、注意事項

- ・養成校は、試験官担当(GFIエグザミネーター)と事前の確認を充分に行ってください。
- ・試験官が事故などで試験会場に到着できない、もしくは試験官を担当できなくなった場合、GFIエグザミネーターと養成校担当者はすみやかにJAF A事務局へ連絡してください。その場合、養成校教職員が筆記試験官を引き継ぐ場合があります。
- ・筆記試験開始後、試験会場(教室)には緊急時を除き、試験官以外入室はできません。
- ・その他、不明な点はJAF A事務局へ問合せしてください。

(6) 養成講座の修了(合格者)と保留者について

1) 合格者

- ・筆記試験と実技試験に合格した方は、養成講座を修了した者とみなし合格通知および「GFI 資格」登録手続きに関する書類を送付します。各個人の申請によって「GFI 資格」取得者として登録します。(P.7 2-(5)参照)

※養成校よりまとめて資格登録を行う場合はご連絡ください。

2) 実技試験の保留者(不合格者) (P.55 参照)

●ベーシックレベル

- ・実技試験における「保留者(不合格者)」に対しては、実技教員が学内補講を実施し、合格レベルまで引き上げてください。
- ・講座終了に際し、「保留者(不合格者)」に対する最終実技判定を実技教員が行ってください。
- ・「保留者(不合格者)」のGFI養成校補講者名簿(GFI 書式8 P.54 参照)を提出してください。原則として学内補講を受けた「保留者」は合格レベルに達したとして、補講者名簿を元に合格通知を各個人に送付します。

●インストラクターレベル

- ・実技試験における「保留者(不合格者)」に対しては、GFIエグザミネー判定による再受験となります。(在学中は再受験料がかかりません。)実技教員が学内補講を実施、またはGFIエグザミネーによる保留補講を実施し、合格レベルまで引き上げて、再試験を実施してください。
- ・再試験日を決定の上、JAFA事務局へ試験申請を行ってください。(P.48～49 参照)

3) 筆記試験の不合格者

- ・再受験は、養成校及びJAFA主催のいずれかで受験できます。(在学中および卒業後1年以内に在学生と一緒に受験する場合、再受験料はかかりません。)